スマートフォンを持つ小学生が町に目立つようになってきたが、小学生にスマートフォンを与えるのは、まだ早すぎるのではないだろうか。

私には小学生の弟がおり、いつかは高校受験をすると思う。私はスマートフォンのしすぎで、高校受験に失敗してしまった経験がある。当時、パズル系のゲームに熱中しており、塾では廊下の片隅で、子供部屋では親の目を盗み、かなりの時間をゲームに費やしてしまった。結果的に、各教科の成績は上がらず、希望の高校に合格することはできなかった。現在の高校生活も充実しているが、スマートフォンがなければ、高校生活は大きく変わっていただろう。特に小学生は、ゲームや動画にのめり込みがちな傾向がある。高学年になれば、先生や親の目を盗むことも覚え、勉強時間は少なくなってしまうと考える。

さらに、スマートフォンは視力の低下や歩きスマホでの事故にもつながる。周知の通り小学生は視力が低下しやすい年代である。また、ゲームや動画などに、熱中しやすい年齢でもある。高校生や大学生なら歩きスマホは構わないと主張したいわけではないが、小学生の歩きスマホは特に危険である。彼らの、健康や生命を守るという観点からも、スマートフォンを与えるのには慎重にならなくてはならない。

以上から、小学生にスマートフォンを与えることに、私は反対である。将来のために、十分な時間をとって、基礎学力を高めて欲しいと考える。（原稿用紙で６４０字）

出典：受験ネット